



2016年

終わりなき変奏
2月20日(土)から
4月10日(日)まで

●休館日 2月曜日(ただし3月21日は開館)、3月22日(火)
●開館時間 10時～18時(金曜日は～20時) *入館は閉館30分前まで
●入館料 一般 1,100円／高校・大学生 900円／中学生以下無料
*20名以上の団体は3,000円割引。障がい者手帳等持参者は1,000円引き。その介添者一名は無料

●主催 東京ステーションギャラリー(公益財団法人東日本鉄道文化団)、東京新聞
●学術協力 ボローニャ市立美術博物館機構 モランディ美術館
With the collaboration of the Istituzione Bologna Musei Museo Morandi - Italy

●後援 イタリア大使館、イタリア文化会館、ボローニャ市
●協賛 大日本印刷

協力 アリタリア＝イタリア航空



東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY



bologna
MUSEI
museo
Morandi

すこし、ちがう。

20世紀最高の静物画家ジョルジョ・モランディ(1890~1964)の、日本では17年ぶりとなる待望の本格的な個展を開催します。

もつたりとした筆触と淡い色彩でまとめられた、つつましく落ち着いた画面。絵のエッセンスを凝縮したような気品ある作品とともに、本展ではモランディ最大の特徴である、ヴァリエーション=変奏に焦点を当てます。故郷のボローニャを終生離れなかったこの孤高の画家は、静物もしくは風景という限定された主題にひたすら専心したことで知られます。しかも登場するのはいつも同じ瓶や壺。一列に並べたり、一箇所にまとめたり、それらを果てしなく組み換えることで、モランディは構図や色調のわずかに異なる無数の表現を生み出しました。

画家の生涯をかけた探求はいかなる変遷を辿り、何を見出したのか。ボローニャのモランディ美術館の全面的な協力のもとに集まった油彩画53点を中心とする約100点が彩る贅沢な空間をご堪能ください。



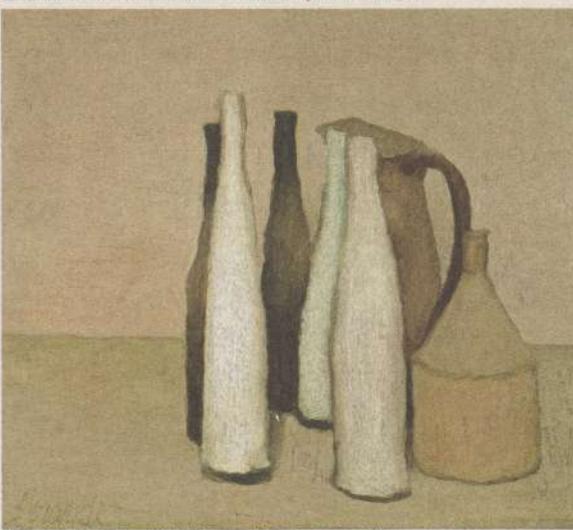
《静物》1951年 モランディ美術館(ボローニャ)蔵 ©Sergio Buono, Bologna



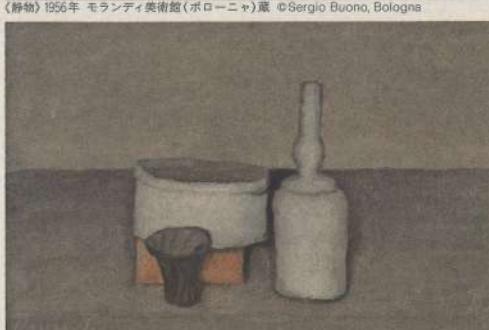
《静物》1956年 モランディ美術館(ボローニャ)蔵 ©Sergio Buono, Bologna



《静物》1954年 個人蔵



《静物》1951年 モランディ美術館(ボローニャ)蔵 ©Sergio Buono, Bologna



《静物》1956年 モランディ美術館(ボローニャ)蔵 ©Sergio Buono, Bologna



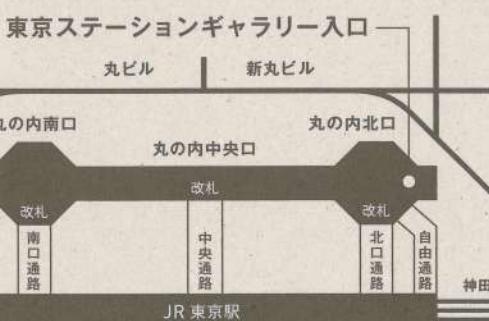
《静物》1952年 国立国際美術館蔵



《静物》1951年 モランディ美術館(ボローニャ)蔵 ©Sergio Buono, Bologna



《静物》1960年 モランディ美術館(ボローニャ)蔵 ©Sergio Buono, Bologna



交通:JR 東京駅 丸の内北口 改札前(東京駅丸の内駅舎内)

東京ステーションギャラリー
TOKYO STATION GALLERY

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

Tel. 03-3212-2485 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

●今後の予定「川端康成コレクション 伝統とモダニズム」4月23日~6月19日

● レンガ・タッチ&トーク
煉瓦が特徴的な当館のたてもの解説
3月18日(金)、4月1日(金) 18時(約20分)
1階エントランス集合/参加無料(別途要入館料)

● ギャラリートーク 学芸員による展覧会解説
3月14時(約30分)
3階展示室集合/参加無料(別途要入館料)

● 学生無料ワーク 3月15日(火)~31日(木)
3月26日(金)、3月11日(金)、3月25日(金)
14時(約2時間)

講師:宮嶋葉一(画家)、末永史尚(美術家)、横山奈美(画家)
企画展示室にて/参加無料/定員70名(未就学児不可)
*申込方法 開館時間中に電話でお申し込みください。
定員に達し次第受付終了します。休館日のイベント
のため展覧会のすべてはご覧になれません。

● ワークショップ
「モランディのわざを解剖する」
画家と一緒に、模型などを使ってモランディの
作品の作り方を分析してみよう。
4月4日(月) 14時(約2時間)

● 講師:峯村敏明(美術評論家)
企画展示室にて/聴講無料/定員70名(未就学児不可)
*申込方法 開館時間中に電話でお申し込みください。
定員に達し次第受付終了します。閉館後のイベント
のため展覧会のすべてはご覧になれません。

● 記念講演会
「モランディは私たちを失神させる」
3月5日(土) 18時30分(約90分)